

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

12

December
2024

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



第21回経営研究集会



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2024年度スローガン

自社の存在意義を問い直し、
地域と共に豊かな未来へ

自社の存在意義を問い直し、地域と共に豊かな未来をつくろう



11月18日、ホテルメトロポリタン山形において第21回経営研究集会が開催され、会内外から173名が参加しました。「自社の存在意義を問い直し、地域と共に豊かな未来をつくろう」のスローガンの下、地域と自社の関わりを認識し、地域課題に対して自社が取り組むべきことについて考えあいました。

冒頭、あいさつに立った菅原茂秋代表理事は、同友会運動について説明した上で、「社会課題や地域課題がどれだけこれからの経営に重要になってくるか。失われた30年と言われた時代の『今だけ、金だけ、自社だけ、自分だけ』という生き方では、これからの世の中通用しない。地域課題、社会課題をど真ん中に据えて経営していくという覚悟が求められるのではないか。今日の学びを明日からの経営に生かし、地域をよりよいものにしていきましょう」と述べました。

続いて、来賓を代表して山形銀行 本店営業部本店第一部長 和泉圭氏からご挨拶を頂き、山形県知事のメッセージと祝電が披露されました。



講演は、「企業づくりと地域づくりを一体として～地域建設業ができる地域一体化～」をテーマに、藤田建設工業(株) 取締役会長 藤田光夫氏(福島同友会)が講師を務めました。同社は、人口約1.2万人の棚倉町で建設業を柱に、多種多様な関連グループ企業が共に同友会で学

び、共に活動することで企業力を高め、地域資源を生かした事業で地域課題の解決に取り組んでいます。

藤田氏は「地域を支えてくれる人材を育てていかなけれ

ばならない。そのために雇用をどうつくるかが重要」と述べ、採用にあたって「来てくれる人はいい人」と捉え、健康でやる気があり、地域を大事にする、かつてやんちゃだった“マイルドヤンキー”を採用し、地域を活性化してくれる人材に育てていると説明しました。そして「地域資源を生かして、とにかくチャレンジをしなければならない。右肩下がりでは長く続けることはできない」と語りました。

引き続き行われたグループ討論では、「あなたが地域のためにできることは何ですか？」をテーマに行い、活発な意見交換が行われました。

座長のまとめでは、城北電気工事(株) 代表取締役 伊藤誠氏が「本日のポイントの一つ目は『挑戦と責任』です。地域づくりの取り組みは時間もお金もかかり、とても大変だと思いますが、企業づくりと併行して続けないと私たちが生活する地域はなくなってしまいます。地域課題から逃げずにどう一歩を踏み出すかが今後の課題と感じました。二つ目は循環型地域社会の形成です。地域づくりには、人・モノ・金・情報の地域資源があることを藤田会長から教わりました。モノとしての資源は地域のものを使うということ、金としての資源は地域経済を回すということです。地域企業から資材を買ったり、お祭りなどに参加したり、地域にお金が回ることを最優先にされていると感じました。ないものは自分で作り、それを無駄にせず循環させる仕組みもつくっています。情報としての資源は、地域企業の連携です。他社と力を合わせることで情報が入り、一社では考えつかないような様々な取り組みを実現されています。人としての資源は、“マイルドヤンキー”の採用と教育です。地元をやんちゃだった人たちを採用、教育して、建設の資格を取得させて地域になくてはならない人材に育てています。足りなければ工夫して事業化し、それを地域になくてはならない企業にまで育て上げること。人口減少や、ないないづくしの中で、来る人はいい人と捉え、一人前の社会人に育てて地域に人を残すということ。本日の講演では、人が生きる社会の地域インフラを整備している事例をお聞かせいただきました。この学びが新たな挑戦の機会となれば幸いです」と述べました。

懇親会では、後藤康晴実行委員長の挨拶の後、山形市・高橋清真商工観光部長より同友会への期待を込めたご挨拶をいただきました。そして、一般社団法人山形県発明協会 常務理事・事務局長 大通薫氏のご発声で乾杯し、和やかに交流しました。

強みを研ぎ澄まし事業領域を見極める ～事業領域に基づいた戦略展開で地域外の顧客数倍増～



11月5日、TISカンファレンスセンターにおいて青年部11月例会が開催され、20名が共に学びあいました。

8月の「青年部を知る会」を経て今年度最初の青年部例会となる今回は、「強みを研ぎ澄まし事業領域を見極める～事業領域に基づいた戦略展開で地域外の顧客数倍増～」のテーマで(株)睡眠屋 代表取締役 小寺祐也氏(庄内支部長)が経営実践を報告しました。

小寺氏の入社時には寝具の訪問販売を主軸としていた(有)寝装こでら(現・(株)睡眠屋)。大手の寝具業界参入でイベント販売にシフトするも「売りつける・買わされる」という関係性に苦悩した小寺氏は、自身がオーダーメイド枕、妹がエステサロンと二つの新しい部門をスタートしましたが、その矢先に代表の父が急逝。外部環境、財務共に厳しい同社を承継しました。

会社を立て直したいという思いは空回りし、管理手法を導入しても社員にはプレッシャーになるばかり。経営者としてやるべき仕事が見えない中、経営理念の成文化が必要と考えて、山形同友会に入会、第16期経営指針をつくる会を受講しました。「何のための経営か」「自社の事業定義は」といった本質的な問いに悩みましたが、最終的には「睡眠のトータルプロデュース」という事業定義を確立し経営指針書を成文化。改革に着手しました。

まずは3年ほどかけて本業をカウンセリング販売に集約し、寝具ではなく「眠りの改善」を提供する独自性を発信することで東北一円からの来客につながりました。またエステサロンは分社化し、それぞれが強みに特化できることで双方の業績が向上しました。

同社は業界の先行事例となれたものの、知名度が高まるにつれてライバルも続出。さらなる差別化にも取り組みました。その一つがパーソナルフィットの強化です。メーカーの

対応範囲を超える微細なオーダーメイドのため、自社で製造を担える工房を立ち上げました。綿のブレンドや特殊なサイズも対応できるようになり、保育園の昼寝布団、映画の小物といった特殊な要望にも対応しています。また、全国のお客様に対応できるようにLINEアカウントも運用。隣県を中心とした4000名以上のお客様とつながっています。

同社では社員教育も重視しています。商品サービスと同様に社員にも高度な専門性や対応力が求められると考え、朝礼での情報共有や社員研修に力を入れています。特に研修については、小寺氏だけでなく社員も睡眠の専門家としての資格を所有しており、セミナー講師を務めることもしばしば。近年は社員への指名も増えているといえます。

小寺氏は今後の展望として、寝具のリユース・リサイクル事業、クリーニング事業、日本文化としての発信を掲げており、すでに動き出している保育園の昼寝布団リサイクルや、高品質な布団クリーニング・保管サービス「布団のホテル」等、最新の取り組みを報告。最後に「当社は66年間、商品は大きく変わらず寝具関連を取り扱ってきたが、『綿屋』から『睡眠トータルプロデュース』という風に視点と方法を変えてきた。ただし、経営理念、経営指針などで進む方向が決まらない限り、そこに追い風はあり得ない」と経営指針の重要性を語り報告を締めくくりました。

その後、「あなたの会社は何業ですか？」をテーマにグループ討論を行いました。若手経営者、後継者、後継者候補の参加者が自社の事業と本質的価値について熱く語り合う時間となりました。

青年部は45歳以下の同友会会員が参加(47歳まで在籍)できる学びと交流の場です。「第二創業」「イノベーション」等のテーマで学び合う例会や、経営の基礎を学ぶ財務セミナーや戦略MG研修等の活動を展開しています。ご興味のある方はお気軽に事務局までお問い合わせください。



経営者と幹部が共に学び、かかわる場



11月20日に社員共育委員会主催で幹部社員研修の第3講が開催され、18社から31名の受講者を含めた55名が参加しました。

今年度の新たな取り組みとしては、参加企業へ事前に説明会を行い、研修のねらいと基本的な流れを説明し、同行者も一緒に学ぶ研修であることを共有しました。

幹部の役割を学ぶ

第1講では庄司薫委員長より開会挨拶とあわせて、幹部社員研修の目的について説明があり「この研修は幹部社員だけが学ぶものではない。経営者が一緒に参加し、対話して理解を深め合い、共に育ちあえる社風づくりをしてほしい」と呼びかけました。

続けて「幹部社員に期待すること」をテーマに阿部秀顕氏(㈱山形ピッグファーム 代表取締役)より講義がありました。幹部社員は経営者と事業目的を共有し、一般業務と並行して、上司の意思決定補佐、部下の育成、担当組織の課題発見・解決などのマネジメント業務を行います。その際、会社の出来事を他人事ではなく自分事として捉え行動してほしいと呼びかけがありました。

その後、「幹部社員の役割は何ですか？その役割は果たせていますか？」をテーマにグループ討論が行われました。幹部社員のやるべきことを改めて考え合い、上司や部下との目的共有や、社員に任せて成長を促すことの重要性が話題にあがりました。

第1講終了後には受講者へワークシートが配布され、企業理念や、会社が受講者にどんな期待を寄せているかなどを経営者と話し合いながら記入しました。

課題解決の実践に向けて

第2講では遠藤由美氏(㈱菓子工房COCOイズミヤ 取締役)より、上司との人間関係に苦しんだことや、幹部社員として仕事を一人で抱え込んでしまった失敗などの経験を踏まえて、自分に足りない部分を部下に任せ、一緒に成

長する考えに変わった実体験の報告がありました。遠藤氏は報告のなかで「1人の100歩より100人の1歩」という言葉を紹介し「自分だけが先へ行くより、皆が踏み出せた方が会社は強くなる。私はみんなより一歩先をみんなと同じ歩幅で歩きたい。それがリーダーの在り方だと思う」と語りました。

続けて伊藤誠副委員長(城北電気工事㈱ 代表取締役)が問題発見と課題解決について講義を行いました。グループ討論では「自社の課題は見つかりましたか？どのようにして解決していきますか？」をテーマに、講義内容を踏まえて事前提出したワークシートを再検討しました。自分自身や部下個人の課題ではなく組織の課題を設定できているか、解決の方法は具体的かなどを互いに話し合いました。

自社での実践を継続する

第2講から第3講までの間は実践期間として、受講者がそれぞれ自社で導き出した課題解決の実践を行いました。そして第3講では、グループごとに実践の共有を行い、「課題は解決できましたか？幹部社員研修に参加してどうでしたか？」をテーマにグループ討論を行いました。研修全体の学びを振り返り、実践期間の反省を行い、これからいかに自社の問題に向き合うかを前向きに話し合いました。最後には受講者一人ひとりが決意表明を行い、研修での学びと幹部社員としての覚悟を述べました。

最後に座長の大江副委員長(㈱サニックス 取締役経営企画部長)はまとめとして第1講から第3講までの内容を振り返り「今年、これまで4年間受講者として参加してきた自社の次長が初めて同行者として参加し、一緒に受講者のサポートをしてくれた。その結果、今までの研修よりも明らかに実践期間の成果が大きい。自社での実践継続というのは、一人が続けることではなく、バトンをつないで共に成長していくことではないか。幹部社員として求められる役割は非常に難しいが、覚悟を決めてこれからも挑戦してほしい」と述べ、研修を終えました。



12月例会のご案内

山形支部

ミニ報告付き望年会
1日30件、年間7,000件飛び込み営業から見えた
お客様の心をつかむ営業の極意

2024.12.5(木)18:00~20:30

場所:のとや喜兵衛3F・瑞宝閣
山形市十日町4-2-3 ☎023-631-1106

会費:5,500円(税込)

報告者:㈱セロン東北 取締役渉外部長 鈴木康雄氏

現状維持は衰退の始まりという言葉があるように、新しい顧客を増やしていかなければ、会社を維持発展させていくことはできません。

12月例会は、1日30件、年間7,000件の飛び込み営業を行う中で、「営業は課題解決人。営業の仕事はお客様の困っていることを引き出し解決すること」と語る㈱セロン東北 取締役渉外部長 鈴木康雄氏より、営業の極意とはなにか、ミニ報告をいただきます。

その後、お酒を酌み交わしながら「営業」を話題に望年会を開催します。皆様是非ご参加下さい！

美味しい食事と共に大いに語らしましょう！

寒河江支部

望年会

2024.12.10(火)18:30~20:30

場所:山竹商店
西村山郡西川町大字海味80-1 ☎0237-74-2610

会費:2,500円(税込) ※酒類は各自購入

皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年度の寒河江支部望年会は、西川町の山竹商店で角打ち体験を行います。また、冒頭には店主の後藤武郎氏よりミニ報告をいただく予定となっております。ゲストのご参加も大歓迎ですので、是非お誘いあわせの上で参加ください。

さくらんぼ支部

望年会

2024.12.3(火)18:00~20:00

場所:東根温泉 さくら湯
東根市温泉町1-9-7 ☎0237-42-0043

会費:6,500円(消費税・入湯税込)

12月のさくらんぼ支部例会は、毎年恒例の“望年会”！

さくらんぼ支部の今年度のスローガンは「本当にそれでよいのか、常に問いかけよう」です。美味しい料理をいただきながら、この1年を振り返り、新年の抱負、経営者の熱き思いを語り合い、会員同士の交流を深めましょう。新会員の方はじめ多くの方々、もちろんゲストの方のご参加もお待ちしております。おいしいお食事と共に大いに、そして熱く語らしましょう！

置賜支部

望年会+ミニ例会

2024.12.5(木)18:00~20:30

場所:招湯苑
山形県米沢市門東町1丁目4-5 ☎0238-21-5066

会費:6,000円(税込)

皆様、いかがお過ごしでしょうか。置賜支部12月例会は、恒例の望年会と併せて、冒頭30分のミニ例会を開催することとなりました。ミニ例会では本多作之助支部長(㈱本多建設 代表取締役)より置賜支部の10年ビジョンについて報告があります。2024年を振り返り、未来に向けて熱く語り合いましょう。ゲストのご参加も大歓迎ですので、是非お誘いあわせの上で参加ください。

庄内支部

望年会

2024.12.18(水)18:30~20:30

場所:Cafe&Dining EAST
鶴岡市東原町17-7(ランドエル・サン内) ☎0235-24-4639

会費:6,000円(税込)

今年もあとわずかとなりました。庄内支部12月例会は、ランドエル・サン内の「EAST」で望年会です！

2024年を振り返り、今の悩み、来年の経営、今後のビジョンを仲間と率直に語り合いませんか？

コース料金と飲み放題プランです！是非皆様と交流しながら学びや気づきのある会にしましょう！

ゲストさんのご参加も大歓迎！是非お誘いあわせの上で参加ください！

新庄最上支部

新庄最上支部忘年会

2024.12.16(月)18:00~20:00

場所:酒人空
新庄市若葉町7-5 ☎0233-23-8303

会費:5,000円(飲み放題、税込)

毎年恒例、新庄最上支部忘年会のご案内です。

今回は新庄駅近くの酒人空(しゅじんく)で、おいしいお酒と料理に舌鼓を打ちながら、今年の成果や課題、来年の抱負、同友会の学び、地域・業界についてなどなど、ざっくばらんに語り合いましょう！ここでだからこそ言える話、聞ける話があるかもしれません。

是非お誘いあわせのうえでご参加ください！

第7回理事会報告

◆日時:2024年11月13日(水)午後3時00分～午後4時50分 ◆会場:TISカンファレンスルーム ◆議長:小川副代表理事
◆出席者:(敬称略)川合、菅原、阿部、小川、西塔、大江、笹林、東海林、中川、菊地、鎌水、伊藤、前盛、志田、後藤(康)、飯野、井田、小野、白鳥、武内、平形、佐藤(奈)、玉津、事務局失作、芳賀、青木、上遠野

■開会挨拶

川合代表理事より「先日の中小企業家しんぶんに、高校生が地元中小企業の経営者や社員に、その企業の良さと働く意義について数日かけてインタビューをするという取り組みの記事があった。大学進学を機に県外に行く若者が多いが、戻ってきてもらえる地域になるためには、若い層に地元のことを知ってもらう必要があり、ぜひ山形でもこういった取り組みをしたい」と挨拶がありました。

■学習会

「同友会運動の発展のために」の読み合わせを行い、小川副代表理事が「同友会の基本的な考え方をもう一度振り返ることは重要。同友会の思いや歴史をふまえて活動を行っている」と述べました。

■報告事項

- 1) 中同協第2回幹事会報告10/16(Zoom) 2名
川合代表理事より「会議では全国行事や各委員会等活動報告、複数同友会による合同行事の申し合わせ事項改定などの議題があった。広浜会長からは、中小企業の声を聞きたいという依頼が増えていることは、同友会運動が進展した結果であり、新たなステージに向けて課題を明確にし、解決へ動き出す必要があるとして、五つの運動課題と四つの組織課題、全国行事の課題についての問題提起があり、その後にグループ討議が行われた」と報告がありました。
- 2) 中同協役員研修会10/22～23(北海道) 3名
東海林理事より「中同協顧問の国吉氏から同友会の歴史と理念、中山幹事長から同友会役員の役割、広浜会長からは同友会理念の実践について報告をいただいた。感じたのは自社や日本経済の歴史を学ばなければ未来を描くことは難しいということ、同友会の先人たちの英知の結集が書籍や企業変革支援プログラムなので、これを使い倒すべきだということ。様々なツールを使って、同友会運動と自社経営を不離一体として進めることで自身が体現者となり、周囲の人に伝えることができる」と報告がありました。
- 3) 東北ブロック青年経営者フォーラム11/7(秋田) 11名
東海林理事より「福島同友会の東陽電気工事棟の石川格子氏が経営指針を作成・実践するものの社員の離職が続き、社長がやりたいことばかりをやる指針書になっていたことを反省し、社員が輝くためにどうするべきかを考えて経営をするようになったことを報告。山形からは11名が参加し、他県の方と交流することで深い学びが得られた。懇親会では、中同協の青年部連絡会の手塚氏が、ここ数年で青年部の人数が減っていることに危機感を持つべきで、日本経済を支えるのは青年経営者であるとの提起があった。来年度は山形で開催する予定。ぜひご協力をお願いしたい」と報告がありました。
- 4) 2024年度10月月次報告
矢作事務局より報告がありました。
- 5) 2024年度10月月次決算報告
矢作事務局より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 5名入会 4名退会 494名

■討議事項

議題1: 会員増強の取り組みについて

- 1) 組織委員会の報告
菅原代表理事より、各組織の活動報告の後、増強の意義と増強月間に向けた行動を確認したこと、組織委員会主催の金融学習会のまとめでは、金融機関との交渉も含め、重要な学びを得られたが参加者の少なさに課題を残したこと、今後に予定されている2月のDX学習会、3月の国の中小企業支援制度についての学習会の準備状況について報告がありました。
- 2) 11月会員増強月間の取り組みについて
菅原代表理事が、同友会を知る会のゲスト参加からの入会が効果的であることから、全県の知る会へのお誘いや各支部で開催すること、経営研究会へのゲスト参加の呼びかけを強化していくことを提起し、「増強の趣旨は同友会運動の発展のためであり、経営環境を改善し地域を発展させるため」であることを再確認しました。
- 3) 同友会を知る会の予定

日	時	会場	歴史と理念	体験報告
12月19日(木)	14:00	同友会事務局	後藤代表理事	大江藤之

議題2: 第21回経営研究会について

実行委員長の後藤理事が参加申込状況の報告をした上で、ゲストを含めた参加呼びかけの協力を依頼しました。次に座長の伊藤理事が、「なぜ企業づくりと地域づくりを一体として進めなければならないのかを学び、気付きを持ち帰っていただきたい」と述べ、グループ長研修の報告をしました。

議題3: 2025新春交流会について

武内理事が開催要項案を提案し、承認されました。続いて講師訪問の報告を行い、「社員の意見を活かし、いかに地域に残る会社になるかのヒントを得られる会になると思うので、ぜひ一人でも多くの方にご参加いただきたい」と述べました。

議題4: 第41回定時総会について

志田理事より、下記の日時・会場・記念講演に関して提案があり承認されました。

- 日時:2025年4月21日(月)13時開会
- 会場:パレスグランデール
- 記念講演: 榎吉村 代表取締役社長 橋本久美子氏
(東京同友会代表理事・中同協女性部連絡会会長)

議題5: 中同協関係

- 1) アンケート協力の依頼
川合代表理事より「同友エコアンケート」「経営実態アンケート」の回答への協力依頼がありました。
- 2) 第55回中小企業問題全国研究会in愛媛のご案内
小川副代表理事より、2025年2月6日～7日に愛媛で開かれる第55回中小企業問題全国研究会の参加呼びかけがありました。
- 3) 2025共同求人社員教育活動全国交流会「分科会」報告依頼
小川副代表理事より2025年6月17日～18日に北海道で開催される2025共同求人社員教育活動全国交流会「分科会」で山形大学との低学年プレインターンシップを活用した企業づくりの事例を報告することとなり、報告者を(株)板垣水道板垣一紀社長、座長を(株)サニックス佐藤啓社長が担当する」ことが提案され、承認されました。

議題6: 委員会より

小川副代表理事より、今期から開催となる「経営姿勢確立セミナー」の参加申込状況の報告と、11～12月は企業変革支援プログラムVer.2のe.doyu登録強化・普及月間となることから、自社を改善するために活用していただきたいと登録のよびかけがありました。

■その他

1) 今後の予定について

- ・11月14日(木)～15日(金)人を生かす経営全国交流会(長崎)
- ・11月18日(月)第21回経営研究会(ホテルメトロポリタン山形)
- ・11月20日(水)2024年度幹部社員研修第3講(山形ビッグウィング)13:30～
- ・11月21日(木)経営指針をつくる会第5講(TISカンファレンスセンター)9:00～
- ・11月25日(月)経営姿勢確立セミナー(TISカンファレンスセンター)15:00～
- ・12月12日(木)～13日(金)全国事務局長会議(東京)
- ・12月14日(土)経営指針をつくる会発表会(TISカンファレンスセンター)13:00～
- ・12月20日(金)経営姿勢確立セミナー第2講(TISカンファレンスセンター)15:00～
- ・12月20日(金)北海道・東北ブロック事務局員研修交流会(仙台)
- ・1月10日(金)～11日(土)中同協第3回新春幹事会(東京)
- ・1月11日(土)北海道・東北ブロック代表者会議(東京)
- ・1月16日(木)～17日(金)中同協・経営労働委員会(東京)
- ・1月18日(土)2025新春交流会(滝の湯ホテル)
- ・1月24日(金)委員会合同例会(TISカンファレンスセンター)14:00～
- ・1月27日(月)経営姿勢確立セミナー第3講(TISカンファレンスセンター)15:00～
- ・2月6日(木)～7日(金)第55回中小企業問題全国研究会(愛媛)
- ・2月13日(火)中同協・共同求人委員会(東京)
- ・2月27日(木)中同協・社員教育委員会(東京)

2) 今後の理事会日程について

- 日時:2024年12月11日(水)16:00 ●会場:TISカンファレンスルーム

■閉会挨拶

大江理事より「今年初めて内定式を行った。社員から「内定式やりましょう」と声があがり嬉しかった。新入社員へ歓迎していることや会社の想いを伝えることができた。来月は同友会を知る会の報告者を務めますのでご協力よろしくお願ひします」と挨拶がありました。

新会員紹介

◇ 伊藤 貴裕 氏
いとう たかひろ
(株)Farmおとらふ 代表取締役
農産物生産販売
寒河江支部

◇ 長橋 愛海 氏
ながはし まなみ
(株)長橋製粉 営業
そば粉専門の製粉及び販売
山形支部

◇ 前田 光 氏
まえだ あきら
鳥海採石工業(株) 専務取締役
道路・橋・建造物の骨材販売業
庄内・鶴岡支部

◇ 大類 真光 氏
おおるい まさひこ
hoku archidesign(株) 代表取締役
建築設計・監理
山形支部

◇ 高橋 直也 氏
たかはし なおや
VYONDアニメーションクリエイター 代表
映像制作
山形支部

会員変更

● かつさセラピー協会
代表 太田かおり氏
⇒ (株)かつさラボ
代表取締役
(山形支部)

同友やまがた12月号 (2024年12月1日発行/通巻381号)

“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL:https://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp